

# 日本比較文化学会中部支部第7回大会案内

I. 大会日程 2015年2月15日(日)

II. 大会テーマ グローバリゼーションと比較文化

III. 大会スケジュール 13:00～16:45 (※敬称略)

・12:30～ 受付

・12:55～ 開会の挨拶 澤田 敬人(静岡県立大学・中部支部長)

---

総合司会：白鳥 絢也(星槎大学)

**【第1部】(13:00～14:30)**

○自由研究発表(一人発表20分+質疑応答10分)

座長：川口 雅也(浜松学院大学)・白鳥 絢也(星槎大学)

---

○総会(14:40～15:00)

議長：白鳥 絢也(星槎大学)

報告事項および審議事項 中部支部長：澤田 敬人

(※ご欠席の場合はEメールによる委任状をいただきたくお願い申し上げます。)

---

**【第2部】(15:10～16:40)**

○討論会(円卓会議)

「グローバリゼーションと比較文化」

コーディネーター：安藤 雅之(常葉大学)

パネリスト：白鳥 絢也(星槎大学)

同：津村 公博(浜松学院大学)

同：澤田 敬人(静岡県立大学)

---

○閉会挨拶(16:40～16:45)

安藤 雅之(常葉大学・中部支部副支部長)

## ○懇親会（17:30 頃～19:30）

【場 所】肉とワインの洋食バル ヴェンティ・ウーノ

静岡市葵区紺屋町 1-3 岩久本店ビル 7 階（呉服町スクランブル交差点サークル K の隣のビル）Tel.054-253-6611 <http://shizuoka.womo.jp/gourmet/shop/index/ID/566>

【費 用】99 種類の料理のオーダー式食べ放題・飲み放題（2 時間）

女性：おひとり 3,300 円（税込） 男性：おひとり 3,600 円（税込）

※懇親会のための参加も大歓迎です。参加ご希望の方は、中部支部事務局長・川口雅也宛に E メールにてお申し込みください。 [kawaguchi@hgu.ac.jp](mailto:kawaguchi@hgu.ac.jp)

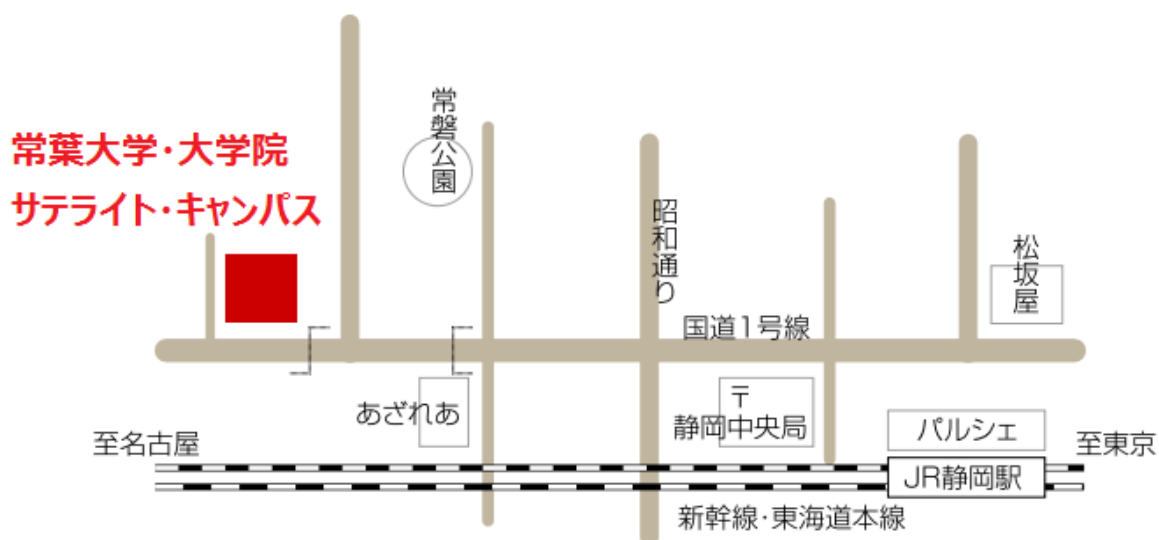
## IV. 会 場

常葉大学サテライトキャンパス 61 教室

〒420-0043 静岡県静岡市葵区川辺町 2-4-13

※当日の連絡先：090-4850-9057（安藤携帯）

大会当日は、エレベーター使用で直接会場へ来ていただけるようお願いいたします。



交通案内：JR 静岡駅北口から国道 1 号線沿いに西へ徒歩 10 分

※案内図：<http://member.tokoha-u.ac.jp/campus/satellite/index.html> より転載

## 自由研究発表

常葉大学サテライトキャンパス 61 教室 (13:00~14:30)

座長：川口 雅也 (浜松学院大学)・白鳥 絢也 (星槎大学)

13:00~13:30

「日本の墓文化における変化」

塚本 美穂 (京都外国語大学大学院)

-----  
13:30~14:00

「多文化共生地域における子どものコミュニケーション能力の育成  
—保幼小連携・接続の可能性と必要性—」

杉本 貴代 (常葉大学)・中川 亜子 (和敬愛育園 園長)

-----  
14:00~14:30

「セネガルの教育改革 — 「ダーラ」の改革を通して—」

鈴井 宣行 (創価大学)

※発表時間は、研究発表 1 件につき 30 分です。(うち発表 20 分、質疑応答 10 分)

## 研究発表要旨

### ①塚本 美穂（京都外国語大学大学院）

#### 「日本の墓文化における変化」

人は死んで墓に入る。日本には古代から伝統的な墓文化がある。墓はコミュニティに必要なものであり、家督を継ぐ者が代々継承してきた。それが現在はどうのように変化しているのか、また変化した理由はなぜなのかを考察する。

### ②杉本 貴代（常葉大学）・中川 亜子（和敬愛育園 園長）

#### 「多文化共生地域における子どものコミュニケーション能力の育成

#### ー保幼小連携・接続の可能性と必要性ー」

乳幼児期からのコミュニケーション能力の育成は、就学以降の学びを保障する。外国籍児童が多い地域の保育所と幼稚園のそれぞれの機能・役割に依拠した独自の取組とそれらの効果について紹介する。その上で、幼児期から学齢期へのスムーズな移行と接続に果たす保育所と幼稚園の役割と可能性について検討する。

### ③鈴木 宣行（創価大学）

#### 「セネガルの教育改革ー「ダーラ」の改革を通してー」

セネガルの教育について、ことに識字率の向上、さらには就学率の向上は同国の開発、発展にとっては極めて重要な問題である。そこで、普通学校だけでは不十分な教育機会の拡充に貢献し得るコーラン学校「ダーラ」が果たす役割を考察する。

**討論会（円卓会議）**  
**【テーマ：「グローバル化と比較文化」】**

常葉大学サテライトキャンパス 61 教室 （15:10～16:45）

コーディネーター：安藤 雅之（常葉大学）

パネリスト①

白鳥 絢也（星槎大学） 「グローバル化と学校教育」

グローバル化に伴う市場主義や競争主義の進展とともに、学校教育の分野にどのような影響が生じているのかについて、特に教材開発の原理に基づいて「ESD」や「多文化共生教育」の点からその課題を検討したい。

パネリスト②

津村 公博（浜松学院大学） 「地域とグローバル化」

グローバル化の影響下、地域および地域の研究は多様なかたちで交渉ができるようになり久しい。地域へのまなざしの幅が広がる中で、湧き上がる新たな課題や条件を追究したい。

パネリスト③

澤田 敬人（静岡県立大学） 「グローバル化と人の健康」

グローバル化の文化の次元を検討し、英米的な価値と消費財の普及のもと、ファストフードという画一的なグローバル商品が人の健康に影響を与えることを指摘する。

※【円卓会議について】

第7回支部大会では、円卓会議「グローバル化と比較文化」という企画を開催することに決まりました。

大会の当日には、3人の発言者に壇上で話をいただき、その講話と、あらかじめ知らされている「題」および「80字の要旨」を見て、聴衆は、3人の発言者が座る3つのテーブルのいずれかに分かれて、熟議を進めます。その結果をコーディネーターがまとめます。